家庭教育支援

かむかむ教室「歯と歯みがき」
（久万高原Ｈａｐｐｙサポート　【久万高原町】）

①【四国中央市】ふれ愛家庭教育支援チーム　69
②【西　条　市】子育て学習講座　70
③【今　治　市】家庭教育学級・子育て学習講座　71
④【上　島　町】家庭教育支援・子育て講座　72
⑤【伊　予　市】伊予市家庭教育・子育てサポートグループ　73
⑥【砥　部　町】砥部町家庭教育支援チーム　74
⑦【久万高原町】久万高原Ｈａｐｐｙサポート　75
⑧【大　洲　市】大洲子育てサポート“そよ風”　76
⑨【西　予　市】せいよ家庭教育・子育て応援グループ　77
⑩【宇和島市】宇和島市家庭教育支援チーム　78
⑪【愛　南　町】あいなん子育て応援グループ　79

家庭教育支援チームふれ愛グループ 【四国中央市】

～絆を深め、心の通い合った温かい支援を目指して～

◆活動の目的・理念

- 家庭教育や子育てに関する講座を推進し、家庭教育力の向上を図る。
- 懇談会や相談活動を通して、保護者の悩みを共有し、温かい支援に努める。
- 子育ての拠り所となる子育て情報を発信し、活動の絆を深める。

活動拠点	妻鳥公民館・寒川公民館		講座・学習会開催数	13 回	相談対応件数	5 件	訪問活動	0 件
広報活動	1 回	連携・協力団体・機関	市内保育園・幼稚園33園、小学校19校、中学校7校、公民館3館					

チームスタッフ 計 7 名	地域コーディネーター 名	子育てサポーター・リーダー 1 名	民生委員・児童委員 名
	元教職員 3 名	PTA役員 名	保健師 名
	心理士・スクールカウンセラー 名	支援団体・NPO関係者 名	その他 3 名

取組の概要

＜主な取組内容＞

● 親の子育てを応援する学習会の開催

☆ 子育て講座 （小学校 11回）

小学校11校から依頼があり実施することができた。入学を控え保護者が不安に思っていることや基本的な生活習慣の大切さ、スマホの使い方、ほめ方・しかり方等、親の役割や子どもとの接し方について語り掛けた。

☆ 子育て懇談会（幼稚園 2 回）

新型コロナウイルス感染症の影響で実施を見送る園が多い中、三島南幼稚園で実施することができた。
少人数で話し合い、自分の子育てを振り返りながら、前向きに子育てに取り組む様子が感じられた。

● 必要な支援へとつなぐ相談活動の実施

妻鳥公民館と寒川公民館を拠点に、いじめや不登校等で悩んでいる保護者からの相談を受け、前向きに進んでいけるようアドバイスをしている。

● 公民館との連携【キッズステーション】

土居公民館で未就園児と保護者を対象に実施している。
子どもの成長と保護者の心の支えとなる活動を心掛けている。

● 効果的な情報提供

家庭教育の指針として保護者の心の拠り所となるリーフレットを作成し、
保育園や幼稚園、小学校、中学校の保護者に配布している 。

（子育て懇談会（三島南幼稚園））

保護者の感想

- なかなか親同士が話し合うことがなかったので、子育てについて考えることができて良かったです。悩みは同じだと分かりほっとしました。子どもの成長を見守りたいです。
- スマホやゲームの利用では、家族みんなが納得するルールを決め、正しく使いたいと思います。

＜特色ある取組＞

● 子育て講座

就学時健康診断の時に子育て講座を市内11校で実施した。基本的生活習慣の大切さやスマートフォンやゲーム機の適切な使い方、ほめ方・叱り方、子どもからのサインへの気付き等、家庭教育の大切さを語り掛けている。入学前の不安を取り除くことができればと考えている。

（子育て講座（川之江小学校））

事業を実施して

【成果】
新型コロナウイルス感染症の中、就学時健康診断時の子育て講座を実施することができた。早寝早起き朝ごはん等の基本的な生活習慣の大切さや子どもの話に耳を傾け、深い関心をもって接する姿勢が大切であると語り掛けている。

【課題】
新型コロナウイルス感染症のため、子育て懇談会やキッズステーションの活動が制限されてしまった。保護者と触れ合い語り合う機会を多くもつことができる活動を考えていきたい。

子育て学習講座 【西条市】
～学校や地域とともに築く家庭教育～

◆活動の目的・理念

● 各年齢層の児童・生徒を持つ保護者のために、参観日や保護者会等の機会を利用し、子育てに関する講座を実施することにより、家庭教育の向上を図ることを目的とする。

活動拠点	－	講座・学習会開催数	56 回	相談対応件数	－ 件	訪問活動	－ 件
広報活動	2 回	連携・協力団体・機関	小学校25校、中学校10校、各小中学校PTA				

チームスタッフ	地域コーディネーター 名	子育てサポーター・リーダー 名	民生委員・児童委員 名
	元教職員 名	PTA役員 名	保健師 名
計 0 名	心理士・スクールカウンセラー 名	支援団体・NPO関係者 名	その他 名

取組の概要

＜主な取組内容＞

● **小学校での就学時健診等を活用した子育て学習講座**
- ・就学前の子どもを持つ親を対象とした講座
- ・各小学校単位で実施

● **小学校での参観日等を活用した子育て学習講座**
- ・小学生の子どもを持つ親を対象とした講座
- ・各小学校単位で実施

● **中学校での参観日等を活用した子育て学習講座**
- ・中学生の子どもを持つ親を対象とした講座
- ・各中学校単位で実施

（グループに分かれて、ワークショップ）

保護者の感想

・相談できる場所を知り、何かあれば相談したいと思った。安心して悩みを相談できそうだ。（就学時「子育てを振り返って」ほか）

・子どもが今困っている、その不安を取り除いていけるような親でありたいと思った。お母さんならちゃんと話を聞いてくれるという信頼を得られる親になりたい。（就学時「困った子は、困っている子」ほか　）

・子どもとお金の使い方、スマホの使い方について真剣に考える良い機会になった。（思春期「中学生の金銭感覚」）

（絵本の読み聞かせ）
絵本「おやおやじゅく」の読み聞かせを通して、親の仕事・役割を学びました。

＜特色ある取組＞

● **PTA会長や専門部の部長が講師になる！**

PTA専門部会に分かれて話合いをした。PTA会長や専門部長が講師を務めることで、身近な話題を共有して、悩み事を話し、解決することができた。

● **「えひめ家庭教育応援プログラム『もうすぐ小学生』」の活用**

ワークショップ形式で行い、講演を聞くだけでなく、保護者が就学前の不安感等について、自分の思いを言葉にしたり、考えを交流したりすることができた。

● **講座開催時間の工夫**

２校時と４校時に参観授業を分散し、間の時間に講演会を実施したことで、参加者数が増えた。

（子育ての悩み相談）
PTAの会長や部長が講師となり、話合いをしている様子

事業を実施して

【成果】

● 地域在住の方を講師にしたり、ワークショップを取り入れることで、入学前に保護者間の交流ができ、不安感を少しでも取り除くことができた。

● 発達障がいについて理解を深めることができたり、対応の仕方や関係機関との連携の仕方がわかり、保護者の安心につながった。

【課題】

● 小グループでの話合いは、盛り上がって時間を超過することがあった。一方、発言をすることに抵抗感がある保護者にとっては、しんどい思いをさせてしまうことになった。

● 一般的に講師の年齢が高くなっている。幼児を育てている世代とかけ離れてしまうので、若い世代の講師の発掘が必要だ。

家庭教育学級・子育て学習講座【今治市】
～学校・PTA・地域と連携した講座の実施～

◆活動の目的・理念

● 児童・生徒が心身ともに健全な成長をするように、学習活動をとおして家庭における成人の役割を学び、心豊かな明るい家庭環境づくりと青少年の健全育成を目指す。

活動拠点	小・中学校		講座・学習会開催数	63 回	相談対応件数	0 件	訪問活動	0 件
広報活動	0 回	連携・協力団体・機関	家庭教育学級（小学校15校、中学校10校、各学校PTA） 子育て学習講座（小学校14校、中学校1校）					

チームスタッフ	地域コーディネーター 名	子育てサポーター・リーダー 名	民生委員・児童委員 名
	元教職員 名	PTA役員 名	保健師 名
計 0 名	心理士・スクールカウンセラー 名	支援団体・NPO関係者 名	その他 名

取組の概要

＜主な取組内容＞

● **子育て学習講座**
- ・小学校の就学時健康診断の機会を活用
- ・講師は校医、保健師、発達支援センター職員など
- ・子どもの健康管理や身に付けさせたい生活習慣、子どもとの向き合い方などについての講座

参加者の声
- ・栄養バランスに気を付けていきたい。朝食もしっかり取るようにしていきたい。
- ・睡眠や食事が大切な理由が分かり、理由も一緒に伝えていきたい。
- ・生活リズムを改善し、睡眠を長く確保できるようにしていきたい。
- ・「子どもに接する5カ条」を心に留め、子どもを大切に育てたい。
- ・就学後の子どもへの接し方について聞くことができ、安心できた。
- ・子どもが反抗期で困っていたけれど、受け止め方で変わることを知り、気持ちが楽になった。
- ・思春期語自動翻訳機の話は、大人で共有していきたい。

（子育て学習講座「就学前の健康管理について」）参加者は、熱心に話を聞き、子どもの生活リズムについて振り返っていた。また、資料が分かりやすく、参考になったという声が多く聞かれた。

● **家庭教育学級**
- ・PTAの組織を通じた研修会の開催
- ・地域の特性を生かした講座

＜特色ある取組＞

●家庭教育学級

家庭教育学級では、市内小中学校PTAが地域の特性を生かし、給食の試食会や手作り雑貨教室等を実施している。本学級は各PTAが工夫を凝らし、参加者の交流の場ともなっている。

（家庭教育学級：フラワーアレンジメント教室）

事業を実施して

【成果】
- 子育て学習講座では、子どもの健康管理や子育てをする上での留意点などについて、講師から指導・アドバイスを受けることができた。参加者にとって子育ての方法を見つめ直す良い機会となった。また、新型コロナウイルス感染症に関する話もあり関心を寄せていた。
- 家庭教育学級では、給食の試食会等の食育に関する学習や新型コロナウイルス感染症に関する話など、様々な実践、学習活動が行えた。この教室を通して、家庭環境作りや参加者同士の交流が深まり、お互いが家庭の相談をしやすい環境をつくることができた。各家庭での実践が期待される。

【課題】
- 平日の昼間に実施するため参加者が限定されていることから、男性の参加が難しいと思われる。学校施設を利用しているため拡充が困難でもある。
- 家庭教育学級では、実技、レクリエーションと講座を組み合わせて楽しく学ぶことができた。今後も、家庭教育に重点を置いた幅広い研修が望まれる。

家庭教育支援・子育て講座 【上島町】
～学びあいと交流を大切にした子育て支援～

◆活動の目的・理念
- 家庭教育における課題を探り、子どもの発達段階や親としての心得、子どもが抱える問題等について学習する機会をもつことで、全ての保護者が安心して家庭教育を行える環境づくりを進める。
- 家庭教育における悩みを相談し合い、情報交換できる場をつくる。

活動拠点	生名保健センター 岩城保健センター	講座・学習会開催数	6 回	相談対応件数	－ 件	訪問活動	－ 件
広報活動	回	連携・協力団体・機関	保健センター				

チーム	地域コーディネーター 名	子育てサポーター・リーダー 名	民生委員・児童委員 名
スタッフ	元教職員 名	PTA役員 名	保健師 名
計 0 名	心理士・スクールカウンセラー 名	支援団体・NPO関係者 名	その他 名

取組の概要

＜主な取組内容＞

● **親子ふれあい教室**

・ファーストサイン講座…親子の育児ストレスの解消や絆づくり、また、親同士の交流、情報交換の場の提供。
・親子でコネコネパン作り…パン作りを通じて楽しみながら、子どもの手先の発達を促し、家庭でも取り組めるきっかけとする。
・ハンドマッサージ … 親子でリラックスした時間を過ごすとともに、親子のスキンシップ、ふれあいの時間を持つ。
・クリスマスコンサート…ピアノ演奏と声楽を親子でともに聞くことで、リラックスした時間を過ごすとともに、スキンシップを図る。

● **子育て講座**

学校の参観日を活用し、親子で学べる講座を実施している。
・中学生のみなさんに知っておいてほしいこと
～姿勢・運動・セルフケアについて～
親子で体を動かしながら、成長期の体について学ぶ機会を持つことを目的に開催。

（サンタさんと歌を歌いながら踊っている様子）

保護者の感想
・言葉でなくても気持ちは伝わるということが分かり、安心した。普段の生活に取り入れていきたい。
・教室に参加することで、他の子の様子も知れたり、保護者と交流できたり、楽しく過ごせ、日頃の不安も取り除けた。

＜特色ある取組＞

● **子育てサロンおひさまとの共催**

昨年度から、岩城地区の親子ふれあい教室では、子育てサロンおひさまと共催で教室を実施。少人数だからこそできる企画をし、季節を感じられる遊びや身体づくりの要素も取り入れた。特に大きなエアートランポリンは好評であった。
保護者同士の交流や子育てへの不安が軽減するよう、保護者支援に取り組んだことで、親も子も気軽に楽しんでもらうことができ、子育てサロンに継続的に通う参加者が増えた。

（エアートランポリン遊び）

事業を実施して

【成果】
- 学校や保健センターとの連携を図ることができ、より多くの保護者に参加してもらうことができた。
- 親同士の交流の場ができ、普段の育児の悩みなどの情報交換ができた。

【課題】
- 保護者のニーズを把握し、課題解決につながるような講座内容を計画していきたい。
- 保護者同士のつながりをさらに深めていけるような講座の雰囲気づくりを心掛けるとともに、ここでできたつながりが、さらに広がっていくよう、継続して取り組んでいきたい。

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ【伊予市】
～家庭・地域での家庭教育・子育て支援を目指して～

◆活動の目的・理念
● 地域住民に家庭教育や子育てに関する情報や学習の機会を提供しながら相談活動の充実を図り、共に支え合う家庭・地域づくりを応援する。

活動拠点	伊予市中央公民館		講座・学習会開催数	5 回	相談対応件数	27 件	訪問活動	0 件	
広報活動	3 回	連携・協力団体・機関	市内保育所、幼稚園、認定こども園・私立児童施設、小学校、中学校、公民館、子育て支援センター、保健センター、児童館、児童センター						
チームスタッフ 計 11 名	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーター・リーダー	0 名	民生委員・児童委員	0 名			
	元教職員	2 名	PTA役員	0 名	保健師	0 名			
	心理士・スクールカウンセラー	0 名	支援団体・NPO関係者	0 名	その他	8 名			

取組の概要

＜主な取組内容＞

● **愛護班関係者、幼稚園保護者と連携した意見交換会・学習会の開催**
「子育てで楽しかったこと・つらかったことは？」、「我が家のスマホ・ゲームどうしてる？」といった、身近な悩みの解決に向けた意見交換・ワークショップを各地区公民館で実施

【郡中地区公民館　家庭教育学級】

● **家庭教育支援に関する情報発信**

⑴ **家庭教育情報誌「ほのぼの」の発行（年2回）**
第1回：子育てに関する情報、親子で作って遊べる工作等の紹介
第2回：当グループの活動紹介、子育ての悩み相談の掲載

⑵ **家庭教育周知用チラシの配布（年1回）**
市内保育所、幼稚園、小学校、児童関係施設へ配布し、事業連携を依頼

⑶ **利用者支援事業相談窓口の周知（随時）**
各事業の参加者に、令和3年度から事業を開始した上記窓口の周知

● **親子での学び学習**

⑴ **児童館「あすなろ」の幼児クラブとの連携事業**
あいうえおカードによる語学学習、コミュニケーション能力の向上
体全体での静電気体験による、幼児期の興味関心の向上促進

⑵ **伊予市生活研究協議会との調理実習（今年度は中止）**
栄養士による食育講座の開催。
伊予市産の食材を用いた調理実習の実施

令和3年度　12月発行
家庭教育情報誌「ほのぼの」

保護者の感想
・子どもの年齢も性別も違うが、いろいろな意見があって参考になった。
・今日学んだことを主人と話して、家族会議したい。

＜特色ある取組＞

● **育児支援に「アドラー心理学」**
大平地区公民館の家庭教育学級では、ヒューマン・ギルド認定講師を招いて、アドラー心理学を用いた育児支援方法について学習した。
実践ワークでは、同じ絵であっても見方が様々であることを踏まえ、子育てにおいて子どもがただ単に怒っていると捉えるのではなく、その裏の原因を捉える見方を身に付けることを学んだ。
参加者からは、「相手に寄り添うことの大切さに気付くことができた」、「心がけ一つで見え方が変わるのだなと感じた」という声が寄せられた。

【講師の方による講話、実践ワークの様子】

事業を実施して

【成果】
● コロナ禍ではあるが学習会等を開催し、参加者から好評の声をいただいた。
● 児童館「あすなろ」との連携事業において、2～3才の子どもと保護者への学び学習を開催し、活動対象者の年齢層を拡張することができた。

【課題】
● 全ての公民館での事業実施が叶っていないため、各施設と連携し、実施に向けて努力したい。
● スタッフが高齢化し、現状の子育て世代と認識の齟齬が発生している。最新の子育てに関する知識の獲得や傾聴能力の向上を図るため、スタッフへの研修が必要と考える。

砥部町家庭教育支援チーム 【砥部町】
～悩みを抱える保護者が気軽に相談できる場所づくり～

◆活動の目的・理念
- ●気軽に相談できる場
- ●悩みを打ち明けられる場所づくり
- ●保護者・地域・学校などのパイプ役になる支援活動

活動拠点	砥部町中央公民館		講座・学習会開催数	5 回	相談対応件数	42 件	訪問活動	－ 件
広報活動	5 回	連携・協力団体・機関	幼稚園・保育所・認定こども園・小学校・中学校					
チームスタッフ 計 5 名	地域コーディネーター 1 名		子育てサポーター・リーダー 名		民生委員・児童委員 名			
	元教職員 名		PTA役員 名		保健師 名			
	心理士・スクールカウンセラー 名		支援団体・NPO関係者 名		その他 4 名			

取組の概要

＜主な取組内容＞

● **子育て学習会の開催（全5回）**

講師を招き、年間5回の子育て学習会を開催する。

第1回 演題：地域で子どもたちを見守ろう～砥部町の取り組み～
講師：スクールソーシャルワーカー 古谷 大志 氏

第2回 演題：子どもの成長にあった絵本の読み聞かせ～絵本を通じたコミュニケーション～
講師：とべまほうのつえ 吉岡 泰子 氏

第3回 演題：アンガーマネージメント～怒りのコントロール～
講師：心理療法士・メンタルトレーナー 幸田 裕司 氏

第4回 演題：子育て家庭の防災力を身につけよう
講師：医技タット（愛媛県立医療技術大学防災サークル）

第5回 演題：タブレット学習の取り組みについて
講師：砥部小学校 校長 伊達 泰明 氏

（子育て学習会の様子）

● **家庭教育相談**

特に相談日を設けているのではなく、普段から学習会後に相談に応じている。誰でも気軽に相談できるよう家庭教育支援員の存在について周知をして対応している。

保護者の感想
- ・講座に参加して子育ての不安が少しは解消された。
- ・保護者同士のつながりもつくることができて良かった。

＜特色ある取組＞

● **子育て学習会後の相談事業**

子育て学習会のあと、家庭教育や子育てについて気軽に語り合える場として、講師やスタッフを交えながら相談会の時間を設け、参加者が子育てに関する不安や悩みを打ち明けたり、傾聴したりすることで、子育てに対する不安やストレスなどを解消する場となっている。相談会では、双方向の情報提供の場として、子育て現場の生の声を聴くことで、今、保護者が必要としている情報を把握し、今後の活動に取り入れている。

（相談事業の様子）

事業を実施して

【成果】
- ● コロナ禍により集まって事業を実施することができないときは、オンラインで情報交換や相談を行い、事業をできる限り滞らせることなく進めた。
- ● 今、保護者が何を求めているか、何を必要としているかを把握して、学習会の内容を決定し、事業を実施した。

【課題】
- ● 現状を把握し、家庭教育に関して関心の低い親や困難を抱えている親に効果的な取組を行っていく必要がある。
- ● 学校や保健福祉関係部局、外部の関係機関とも連携して、より良い事業を展開していきたい。

久万高原Happyサポート 【久万高原町）】
～気持ちに寄り添うやさしい子育て支援～

◆活動の目的・理念
- 誰もが気軽に利用でき、ほっとひと息できる場所づくり
- リラックスできる環境の中で、さり気なくかかわっていく支援
- 日々の生活の中で、分かりやすくやさしい支援

活動拠点	地域子育て支援センター HappyHouse	講座・学習会開催数	20 回	相談対応件数	60 件	訪問活動	12 件	
広報活動	18 回	連携・協力団体・機関	幼保連携型こども園1、児童館1、幼稚園9園、小学校9校、中学校2校、保健センター1、つどいの広場1、高等学校1					
チームスタッフ 計 17 名	地域コーディネーター 1 名	子育てサポーター・リーダー 2 名	民生委員・児童委員 名					
	元教職員 1 名	PTA役員 名	保健師 1 名					
	心理士・スクールカウンセラー 1 名	支援団体・NPO関係者 名	その他 11 名					

取組の概要

＜主な取組内容＞

- **子育て情報発信**
  - ・子育て通信「キラリ」発行　町内全戸に子育て情報発信
  - ・育和会だより及び育和会ホームページに子育て情報掲載
- **学習会「Happyカフェ」開催**
  - ・子育て講座、Happy子育てトーク、カルチャーレッスン等
- **子育て相談実施**
  - ・Happy HouseおよびNIKONIKO館（児童館）での相談
  - ・つどいの広場での訪問相談
- **保健センターとの連携**
  - ・療育教室、療育相談（発達障害など気になる子への対応）
- **子育てサロンでの交流**
  - ・ふれあい広場参加　遊びの提供　月1回Happyカフェと合流
  - ・つどいの広場訪問　託児支援　仲間作りの応援
- **すくすくday（身長体重測定　健康相談　誕生祝い）**

保護者の感想

家に居れば、子どもと1対1で向き合い、煮詰まってしまいそうなところを、Happyサポートによって支えられている。いつでも気軽に利用できて、行事も無理のないところで開催してくれるのてありがたい。

（Happyカフェ）
かむかむ教室「歯と歯みがき」

（すくすくday）
お子さんの健やかな育ちを願って

＜特色ある取組＞

- **Happyお出かけ号　～Happyサポートの子育て家庭への訪問～**

HappyHouseの利用が難しい親子に、いろいろな玩具や遊びを楽しんでもらえるように、「Happyおでかけ号」を始めた。あらかじめ」町内の子育て家庭に案内を郵送して電話で申し込みを受け、依頼があれば車で出かける。おもちゃや絵本の貸し出し、手作りのおもちゃキットのプレゼントなど年齢に応じた遊びを紹介している。母親向けには、書籍の貸し出しや子育て中の気になることをお聴きする子育て相談も行っている。町内の子育て家庭の掘り起こしと呼び掛けをし、Happyサポートの訪問活動として根付かせていきたい。

（ハッピーおやこきっと）
手作りのおもちゃキットをプレゼント

事業を実施して

【成果】
- 食育教室や健康相談など、子どもの成長に関する内容の行事を取り入れたことで、乳幼児期の発達や育ちについて保護者に理解してもらうことができた。
- 「Happyお出かけ号を始めたことで、子育て支援施設に出て来れない親子に呼び掛けをすることができた。

【課題】
- 社会が変化していく中で、子育て支援に求められているものを敏感にキャッチして、子育てに携わっている人々の気持ちに寄り添う支援をしていきたい。
- 今後、集まることの自粛が予想されるため、小規模で無理のない行事による地域との交流を進めたい。

大洲子育てサポート“そよ風”【大洲市】
～保護者に寄り添い、共に学び合う家庭教育支援をめざして～

◆活動の目的・理念
- 乳幼児から思春期までの子育てに関する悩みや課題について、相談等の必要な支援を行う。
- 相談に応じて関係機関と連携し、協働的・包括的な支援を行う。
- 情報紙（そよ風通信）や学習会を通して、子育てを考え、共に学び合う学習の機会を提供する。

活動拠点	大洲市立喜多小学校	講座・学習会開催数	19 回	相談対応件数	120 件	訪問活動	3 件
広報活動	11 回	連携・協力団体・機関	認定こども園7、保育所15、幼稚園3、小学校12、中学校8、公民館23 児童館3、保健センター、子育て支援センター、子育て支援課				

チームスタッフ 計 5 名					
地域コーディネーター 名	子育てサポーターリーダー 1 名	民生委員・児童委員 名
元教職員 1 名	PTA役員 名	保健師 名
心理士・スクールカウンセラー 1 名	支援団体・NPO関係者 名	その他 2 名

取組の概要

＜主な取組内容＞

● 利用しやすい相談対応
- ・毎週月・火・木・金　9:00～16:00に　電話相談・来所相談・訪問相談を行っている。
- ・相談者の要望に応じて、場所や時間を設定し、相談対応を行っている。
- ・児童館での『子育て広場』の後、個別相談対応も行っている。
- ・相談内容によっては、学校やその他の関係機関と連携している。

子育て広場（児童館）

● 子育てを応援する学習会の開催
- ・子育て広場（児童館3か所）において、絵本の読み聞かせや子育てに関する話、グループトークを行っている。
- ・子育て学習会（保育所・幼稚園・小学校）や外部機関・団体の研修会の講師として参加し、参加体験型の活動を取り入れ、楽しみながらも、気付きを促すような学習の場を設定している。

子育て学習会

保護者の感想（子育て広場・子育て学習会について）
- ・みんなと話していると、悩むほどではないけれど「これがね～」みたいな悩みをもっている人たちがいて、「そうなんよ～」と共感できて、スッキリしました。
- ・子どもとの時間は大切だなと思いました。手を止めて話を聞いてあげたいな・・・と思いました。
- ・子育てについての話はとても分かりやすく、勉強になりました。他の保護者と話ができたのも良かったです。
- ・「うん、うん」と納得することが多くありました。困った時の対処法も実践してみたいと思います。

● 子育てに役立つ情報提供
- ・そよ風通信の発行。 毎月1回4,750部発行。市内の全保・幼・小・中学校・その他関係機関に送付している。
- ・大洲市HPにて、「そよ風通信」が閲覧できるようになり、子育て情報提供の広がりが期待できる。
- ・孤立しがちな保護者、要支援の保護者に届けられる支援として有効である。

＜特色ある取組＞

● 学校・他機関との連携
- ・児童生徒の問題を保護者や学校等ときめ細やかな連携をし、包括的な支援に努めた。

● 就学時健診の場を利用して子育て学習会を実施
- ・就学時健診時に「入学にあたって保護者に大切なこと」のテーマで子育て学習会を行った。保護者間のつながりを促進するきっかけとなっている。

● 市教委・家庭相談員との定期的な連絡会
- ・当サポートの状況（講座・通信・相談）及び活動の方針、事例検討等の会議を定期的に行っている。活動の広がりを推進し、運営上の問題解消に役立っている。

● 手作り通信
- ・個別相談や学校等の訪問を通して家庭教育の課題を把握し、それを通信作成に反映できた。

事業を実施して

【成果】
- ● 通信発行や子育て広場・子育て学習会の開催により、保護者に家庭教育支援を行うことができた。
- ● いじめ・不登校の相談等、様々な問題等を学校・家庭と連携して解決を図ることができた。
- ● 学校連携時に「保護者への付き添い・代弁等の寄り添う支援をすることで、保護者が安心感を持ち、子どもに対応することができている。

【課題】
- ● SNS等を活用した相談活動の整備、活用の仕方が今後の課題である。
- ● コロナ感染予防・対応により学習会、子育て広場等の活動が低迷した。

せいよ家庭教育・子育て応援グループ 【西予市】
～親子共育を支える地域力として～

◆活動の目的・理念

- 家庭における教育力の重要性の啓発・底上げ及び保護者の抱える問題に寄り添い対応する。
- 学校や行政関係各課との連携を密にし、社会・家庭・学校のニーズに対応したグループづくりに努める。
- 無理なく息の長い活動を目指す。

活動拠点	西予市教育保健センター		講座・学習会開催数	7 回	相談対応件数	17 件	訪問活動	11 件	
広報活動	3 回	連携・協力団体・機関	市内保育所（認定こども園）17か所、幼稚園4園、小学校12校、中学校5校、公民館25館、児童館、学校教育課、子育て支援課、健康づくり推進課						
チームスタッフ 計 11 名	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーター・リーダー	名	民生委員・児童委員	名			
	元教職員	3 名	PTA役員	名	保健師	1 名			
	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	6 名			

取組の概要

＜主な取組内容＞

- **親の子育てを応援する学習会の開催（子育て親育ち学習会）**
  『大丈夫❤ 自分で生きていけるよ』～発達障がいの子どもを育てて～と題して、スマイリー（発達障がい児親の会）代表の方々に、自身の子育て体験についてお話いただいた。講演後はワークショップも行い発達障がい児の子育てについて意見交換を行う。
- **必要な支援へとつなぐ相談活動の実施**
  定例相談は、毎月第２・４木曜日、９月からは毎週木曜日の13:30～15:30に実施し、電話相談は平日の9:00～17:00に受付対応。要望があれば学校への出前相談を行う。
- **プレママ・ママcafe**
  保護者が子育てについて、不安に思っていることなどを気軽に情報交換できる交流の場を提供する。
- **親子参加型イベント**
  親子・参加者同士のコミュニケーションを図るとともに、気軽に家庭教育について話し合える機会を提供する。

（プレママ・ママcafeの様子）

保護者の感想

- 子どもとの関わり方に悩んでいたので、経験者の方からお話が聞けて少し気持ちが軽くなりました。
- 実際の子育て経験を通してお話いただいた内容が、未就学児を育てている私にとってとても参考になりました。

＜特色ある取組＞

- **わくわくステーションの発行（年3回）**
  子育てや健康等に関する情報、「親子共育」をテーマにした子育て中の保護者の声、活動についての紹介などを記事にし、市内の保育所、幼稚園、小中学校を通じて配布。

（わくわくステーションの一部）

事業を実施して

【成果】

- 発達障がいについての学習会を開催し、同じような悩みを持つ保護者が情報交換することができ、また、プレママ・ママcafeでもこのことについて取り上げ、より深い学習ができるとともに良い交流の場となった。

【課題】

- 人に気軽に会いにくい状況下での支援
- 周知方法の見直し
- グループ員の確保

宇和島市家庭教育支援チーム【宇和島市】
～大きくなあれ　うわじまっ子～

◆活動の目的・理念
- 地域の実態を把握し、子育て中の保護者とパートナーシップをとりながら、豊かな人間関係が持てるようにする。
- 身近な環境や人材を生かし、様々な活動を通して保護者の悩みを引き出し解決の支援をする。

活動拠点	宇和島市教育委員会		講座・学習会開催数	8 回	相談対応件数	0 件	訪問活動	0 件
広報活動	3 回	連携・協力団体・機関	市内保育所10園、幼稚園5園、小学校7校、中学校3校、公民館5館、子育て支援センター、保健センター					

チームスタッフ	地域コーディネーター	名	子育てサポーター・リーダー	2 名	民生委員・児童委員	4 名
	元教職員	4 名	PTA役員	名	保健師	名
計 17 名	心理士・スクールカウンセラー	1 名	支援団体・NPO関係者	名	その他	6 名

取組の概要

＜主な取組内容＞

● 親の子育てを応援する学習会の開催

市内30館の公民館とタイアップし、幼・保・小学校の参観日など保護者の集まる機会をとらえて子育て学習会を開催。

① 親子のふれあい体操～ミュージック・ケア～
② 親子のコミュニケーション～ものづくりを通して～
③-1 基本的な生活習慣について
③-2 子どもの未来をひらく自尊感情の育成
③-3 子どもの愛着障害について
④ 食育講座～1日元気！めざましごはん～
⑤ 本に親しもう～読み聞かせ・本の紹介～
⑥ 子どもの心と体の健康づくり
⑦ 親子でうどん作り
⑧ ネット社会と子どもたち

門松づくり
親子のコミュニケーション～ものづくりを通して～

●必要な支援へとつなぐ相談活動の実施

定例会を開催し、子育て学習会の調整や相談活動に係る意見交換チームの活動に関する協議などを行っている。

保護者の感想

・日本のお正月にまつわる門松を子どもと一緒に作れてよかった。少しでも日本の文化に興味を持ってくれると嬉しい。
・即席だったのに合奏が上手くいって気持ち良かった。先生が走り回って指揮をするとこちらまで元気になりました。

＜特色ある取組＞

● チーム員による幼・保・小学校への訪問活動の実施

チームと幼・保・小学校との連携を密にする目的で、年に数回チーム員による支援を実施しており、情報交換をする中で、家庭教育支援の充実に効果をあげている。

● ほのぼ～のカフェ（子育て座談会）の実施

ほのぼ～のカフェと名付けて、年に数回子育て座談会を実施している。保護者や地域の方々と一息つきながら、子育てに関する相談をし合える場を提供している。（令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止）

子育て学習会
（親子のふれあい体操）

事業を実施して

【成果】

● 子育て学習会の中で大人と子どもの両方が楽しんで 学習を行うことができていた。保護者へ向けた講話形式の学習会では、食生活等の保護者の心に残る学習を行うことができた。

【課題】

● 新型コロナウイルス感染症の影響により、学習会をほとんど開催することができなかった。感染症対策を行い、安心して参加できるように開催方法を検討したい。

あいなん子育て応援グループ 【愛南町】
～子育て家庭の応援団～

◆活動の目的・理念
- 乳幼児から高校生までの子どもを持つ保護者を対象に、子育てのニーズに応じた直接的・間接的な支援を行う。
- 関係機関との連携を必要に応じて行い、切れ目のない継続性を重視したサポート活動を行う。
- 保護者との関係性を築きながら、心理的・教育的な面における身近なサポーターとして関わる。

活動拠点	愛南町役場	講座・学習会開催数	3 回	相談対応件数	10 件	訪問活動	― 件
広報活動	2 回	連携・協力団体・機関	町内保育所8か所、幼稚園1園、小学校12校、中学校5校 子育て支援センター、児童館				

チーム	地域コーディネーター	名	子育てサポーター・リーダー	名	民生委員・児童委員	4	名
スタッフ	元教職員	5 名	PTA役員	名	保健師	1	名
計 10 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他		名

取組の概要

＜主な取組内容＞

● 子育て相談

月1回、電話や面談で、子育ての悩みなどに関する相談を受け付けている。
希望者には、別の日時や場所での相談にも応じる。

（相談対応）

● 子育て通信発行

子育て広報誌（あいなん子育て応援グループ通信）を発行し、家庭教育や子育てに関する情報を提供している。
町内の小中学校・幼稚園・保育所の保護者や子育て支援施設利用者に配布している。

（子育て広報誌
「あいなん子育て応援グループ通信」）

保護者の感想
- 子育て講座では、子どもと一緒に参加できたり、家ではできない体験ができるのでとても楽しみにしている。
- 子育て講座に参加することで、他の保護者と親しくなったり話す機会ができとても良かった。

＜特色ある取組＞

● 子育て講座の実施

親子で楽しめ、気軽に参加できるような子育て講座を実施している。

（貝殻のフォトフレーム作り）

（まつぼっくりツリー作り）

事業を実施して

【成果】
- 自分たちで企画して、子育て講座を実施することで、自分たちの活動を周知するとともに、親子のふれあいの場を提供することができた。また、保護者同士が交流する機会が増え、育児等に関する情報交換を行うことができた。

【課題】
- 町内の他の子育て支援グループとの連携をさらに深め、支援活動の充実を図る。
- 保護者のニーズに合った講座の開催や内容の充実を図る。